



福岡市カヌー協会

【設立年月日】

2005（平17）年4月1日

【加盟年月日】

2005（平17）年5月26日

【歴代会長】

2005（平17）年4月1日 相良 直文

【歴代理事長】

2005（平17）年4月1日 古川 悟

2017（平29）年4月1日 大塚 一男

【沿革】

福岡市カヌー協会は、福岡県カヌー協会の福岡支部として1980（昭55）年より活動を始め、1990（平2）年の第45回国民体育大会（とびうめ国体）等に協力してきました。また、福岡市内の塩原大橋河畔的那珂川水面を国体の練習会場として選定し、カヌー競技への取り組みを始め、その後、同地で夏休みに開催される福岡市南区主催のカヌー教室やカヌー大会にも参画してきました。しかし、体験教室が夏休みの時期に限定されること、塩原大橋河畔が番托取水場の施設付近であることなどから、年間を通じて安全にカヌーを楽しみ、練習できる場所・施設の整備が望まれるようになりました。

関係機関や地元の皆さんの協力もあり、2008（平20）年4月にカヌー専用艇庫が南区老司の老司河畔公園内に竣工しました。老司河畔公園は複数の親水型階段・常設トイレ・ベンチ・遊歩道等が整備されており、年間を通して安全かつ快適にカヌーを楽しむこ



とができる素晴らしい環境にあります。今後も、市民の皆さんにカヌーに親しんでもらえるよう、環境整備を続けていきます。



【現在の活動】

現在は、南区老司のカヌー艇庫と那珂川水面を拠点に、カヌー体験教室等の普及活動と競技カヌーの練習・大会等の強化活動を行っています。

老司河畔公園では、5月から10月の期間、小学生（4年生以上）・中学生・高校生・大学生・一般の方を対象にカヌー体験教室を行っています。また、近年では、毎年11月に開催される中央区大濠公園のカヌー体験教室に講師・選手を派遣し、市民の皆さんにカヌーの魅力を発信しています。

競技カヌーは、県大会・九州大会・国民体育大会カヌー競技等の国内大会および海外大会に向けて、中・高校生をメインに選手強化を図っています。専用艇庫が完成して拠点化に成功し、年間を通じて競技カヌーの練習ができるようになり、九州大会や全国中学生大会・インターハイ・国民体育大会などの全国レベルの大会で上位入賞する選手も輩出できるようになりました。

また、毎年8月には市民総合スポーツ大会のカヌー競技として福岡市カヌー選手権大会を老司河畔公園および那珂川水面で行っています。この大会には体験教室に参加された方や市外のカヌー愛好者のエントリーもあり、非常に盛り上がる大会となっています。